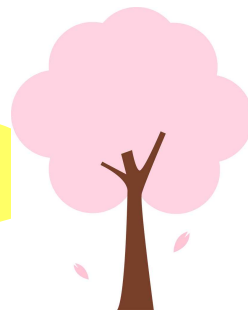


中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部



中部教育局社会教育担当日より平成 28 年 3 月 31 日発行

4月の主な行事

4月13日(水)

中部地区社会体育担当者会 (中部総合事務所)

4月14日(木)

中部地区人権・同和教育担当者会 (中部総合事務所)

4月15日(金)

中部地区社会教育担当者会 (中部総合事務所)

4月20日(水)

市町村人権教育・啓発担当者会 (倉吉体育文化会館)

特集

博物館に行こう!! ~社会教育主事講習より~



県立図書館に次ぐ第2弾! 社会教育主事講習で県立博物館に行きました。そこで普及担当の田中専門員さんにお話を伺いました。



博物館ってどんなところ?

鳥取県の自然、歴史・民俗、美術のお宝資料を、「集めて」・「調べて」・「保存して」・「紹介」するところです。企画展が目立ってしまう県立博物館ですが、実は常設展示にも力を入れています。そこには、教科書に出てくる“ホンモノ”の資料がたくさん展示してあります。教科書にある化石や岩石など、また最近話題の「ダイオウイカ」もあります。「これ教科書でみたことある!」博物館は、そんな“ホンモノ”の資料たちに出会える場所です。

●資料保存に伴う作業



古文書の修復

標本の整理

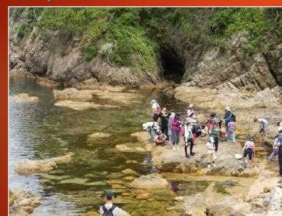
博物館の役割は?

資料の収集、保管、整理、展示、調査研究、教育活動があります。博物館のバックヤードではいろいろな人が働いています。

《教育普及活動》

26

講演会、自然観察会、天体観望会、講演会、歴史講座、民俗講座、史跡巡り、映画鑑賞会、ワークショップ、ギャラリートークなどを、本館、学習館合わせて、年間 約120回開催。
: 8, 511人(2012年度)



自然観察会



史跡めぐり

こんな活動も

実際に現地に行き、専門員や学芸員が出前授業や講演会を行います。また、学校の授業を行う上での専門的な内容の相談活動も行っています。

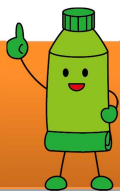
常設展示

実際に来てみると、本当に見応えのある常設展示です。約3000点の資料で、鳥取県の「自然」、「歴史・民俗」・「美術」をわかりやすく紹介しています。



常設展示室





博物館が地域の学習を支援します！

～鳥取県立博物館の地域支援「移動博物館」・「学芸員派遣」～

県立博物館では、地域のニーズにお応えするため、公民館や子ども会主催の事業などで「移動博物館」や「学芸員派遣」などを行っています。博物館の地域支援をぜひご活用ください。

※お問い合わせは 鳥取県立博物館 学芸課 普及担当 (0857-26-8044) まで

【移動博物館の一例】

※ 毎年1月に学校・公民館に照会しています。博物館の資料が学校や公民館に巡回し、身近に接する機会を提供しています。



移動博物館

【学芸員派遣の一例】

※ 随時受け付けています。公民館の講座や子ども会の行事などに、各分野の学芸員がゲストティーチャーとして出かけます。

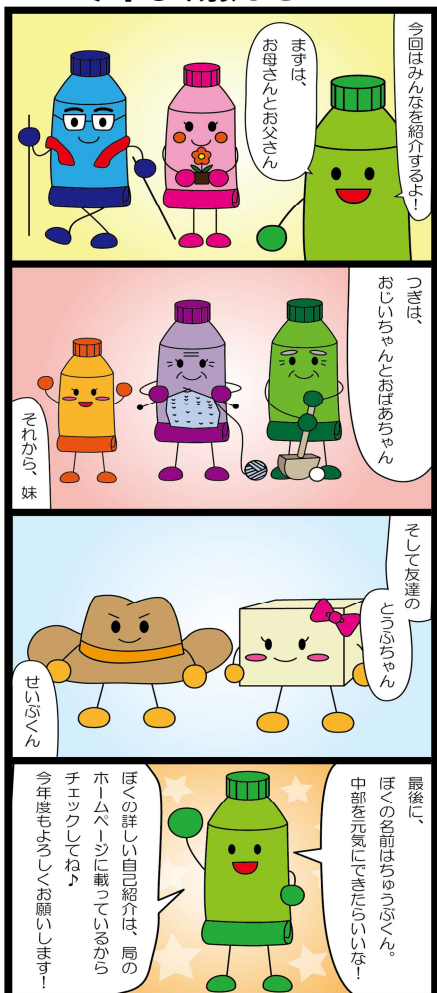
「鳥取の美術入門講座」のようす



美術部門の学芸員が地域に出向き、主に鳥取県の美術の概要や作家について1時間程度の講座を開催します。

また、受講者の年齢や発達段階に応じてゲームやグッズを取り入れたり、ワークシートを使用したりした講座を行います。

ちゅうぶくん ～今年も頑張るぞ～



鳥取県立図書館・鳥取県立博物館見学ツアーの御案内

1日コースの例

午前10時	鳥取県立図書館集合
午前10時～11時45分	館内見学 & 図書館の使い方講座
鳥取県立博物館へ移動(徒歩およそ15分)後、博物館周辺で食事	
午後1時～午後3時	展示解説 & 自由見学

半日コースの例

午後1時	鳥取県立図書館集合
午後1時～2時15分	館内見学 & 図書館の使い方講座
鳥取県立博物館へ移動(徒歩およそ15分)	
午後2時30分～午後4時	展示解説 & 自由見学

※時間設定・見学内容については、ご相談に応じます。 ※20名様以上の団体を対象として、受付します。この場合、博物館の入館料の割引等特典が受けられます。

見学ツアーを行っています。研修会で活用してみたいかがでしょうか。



【あとがき】

この度、県の社会教育課に異動することになりました。「社会教育とは」から始まった3年間でしたが、新しい出会いがたくさんありました。今後も社会教育に携わっていきますので引き続きよろしくお願いいたします。(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail kishimoto-r@pref.tottori.jp

